

2021年3月期 決算説明会

2021年5月21日

TDCソフト株式会社

1. 2021年3月期 決算概況（連結）

2. 2021年3月期 主要施策の状況

3. 2022年3月期 見通しについて

代表取締役社長 小林 裕嘉

4. 2021年3月期 決算内容

取締役執行役員 管理本部長 大垣 剛

2021年3月期のポイント

2021年3月期の実績

- ・ ITコンサルティング&サービス分野や公共法人ITソリューション分野が好調も、コロナ影響による一部案件延伸などにより、**売上高は前期比1.8%減の27,292百万円で着地**
- ・ 高付加価値分野である次世代型SI事業の拡大により収益性が向上したことで**営業利益は前期比6.9%増の2,358百万円を確保**

トピックス

● 中期経営計画 『Shift to the Smart SI』 2019.4-2022.3

高付加価値SIサービスの追求

- ・ アジャイル関連事業 : 売上高は一昨年度から約4倍の1,256百万円まで拡大
- ・ セキュリティ関連事業 : セキュリティ市場のニーズを狙った新サービスをリリース
ローカル5Gを活用したSIサービス開発を見据えたPoC案件を受注

SIモデル変革の推進

- ・ 当社のDX戦略の妥当性などが評価され、経済産業省「DX認定事業者」として業界初認定

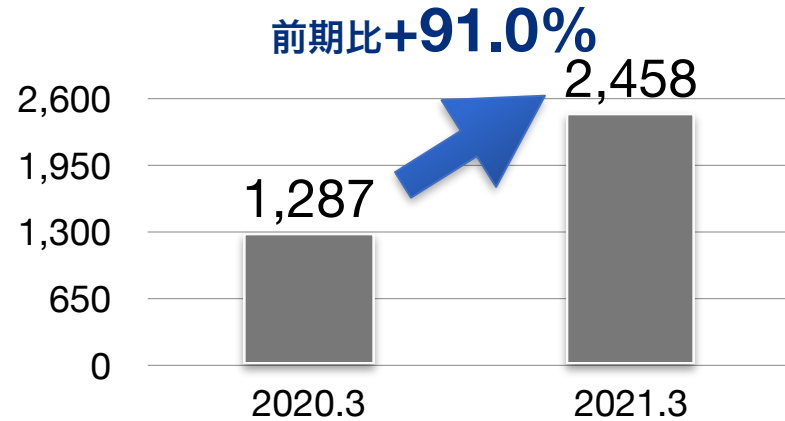
**2021年3月期
決算概況（連結）**

(単位：百万円)	2021年3月期	利益率	前年同期比	2020年3月期
売上高	27,292	-	△ 1.8%	27,795
売上総利益	5,398	19.8%	+2.3%	5,277
営業利益	2,358	8.6%	+6.9%	2,206
経常利益	2,564	9.4%	+13.2%	2,265
当期純利益	1,711	6.3%	+14.1%	1,500

【ハイライト】

- コロナ影響により案件の延伸・中断や、対面営業の制限等の受注活動への影響が発生
- 売上高は前期から微減するも、ITコンサルティング&サービス分野などDX関連案件が好調
- 中期計画に基づく事業の高付加価値化により、営業利益率が向上

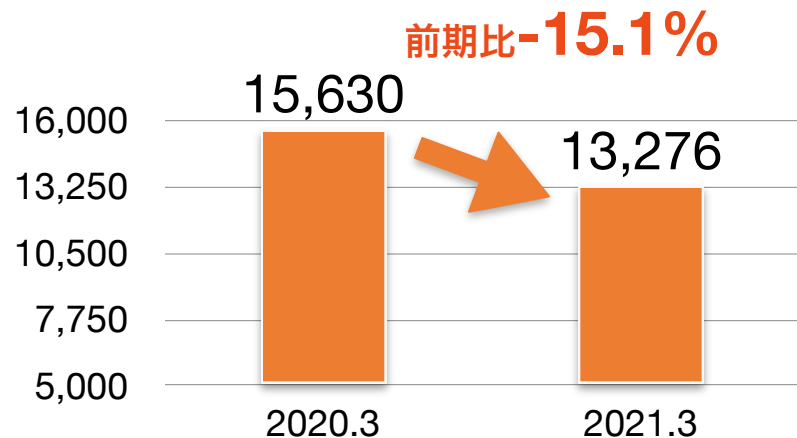
ITコンサルティング&サービス分野



お客様のDX推進に向けたIT戦略・システム化構想の立案、技術コンサルティング、教育サービス、自社クラウドアプリ、BI/DWH、ERP、CRMなどのソリューションサービスを提供

当期はBI/DWH、ETL等のデータ分析基盤関連案件が堅調に推移。DXの潮流を追い風として急拡大。

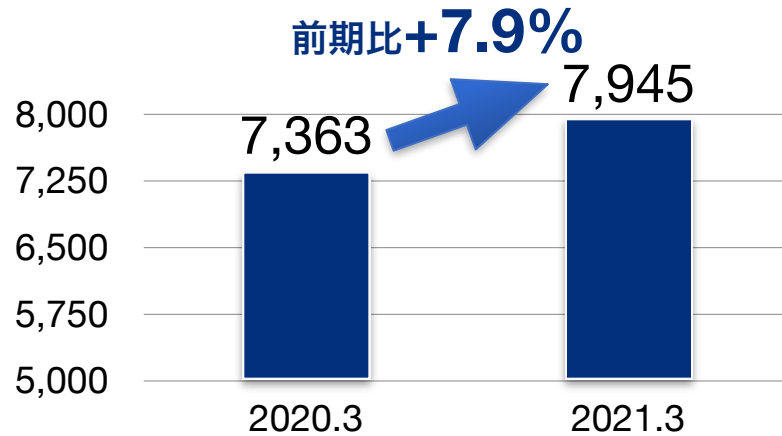
金融ITソリューション分野



金融業向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

ポイントカード関連案件が堅調、保険業向けの案件は収束案件の中断・延伸などのコロナ影響が最も大きかった分野

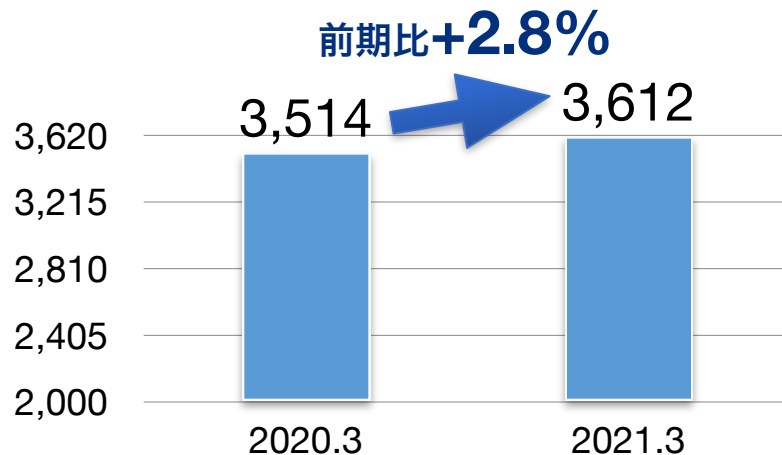
公共法人ITソリューション分野



流通業、製造業、サービス業、公共向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供

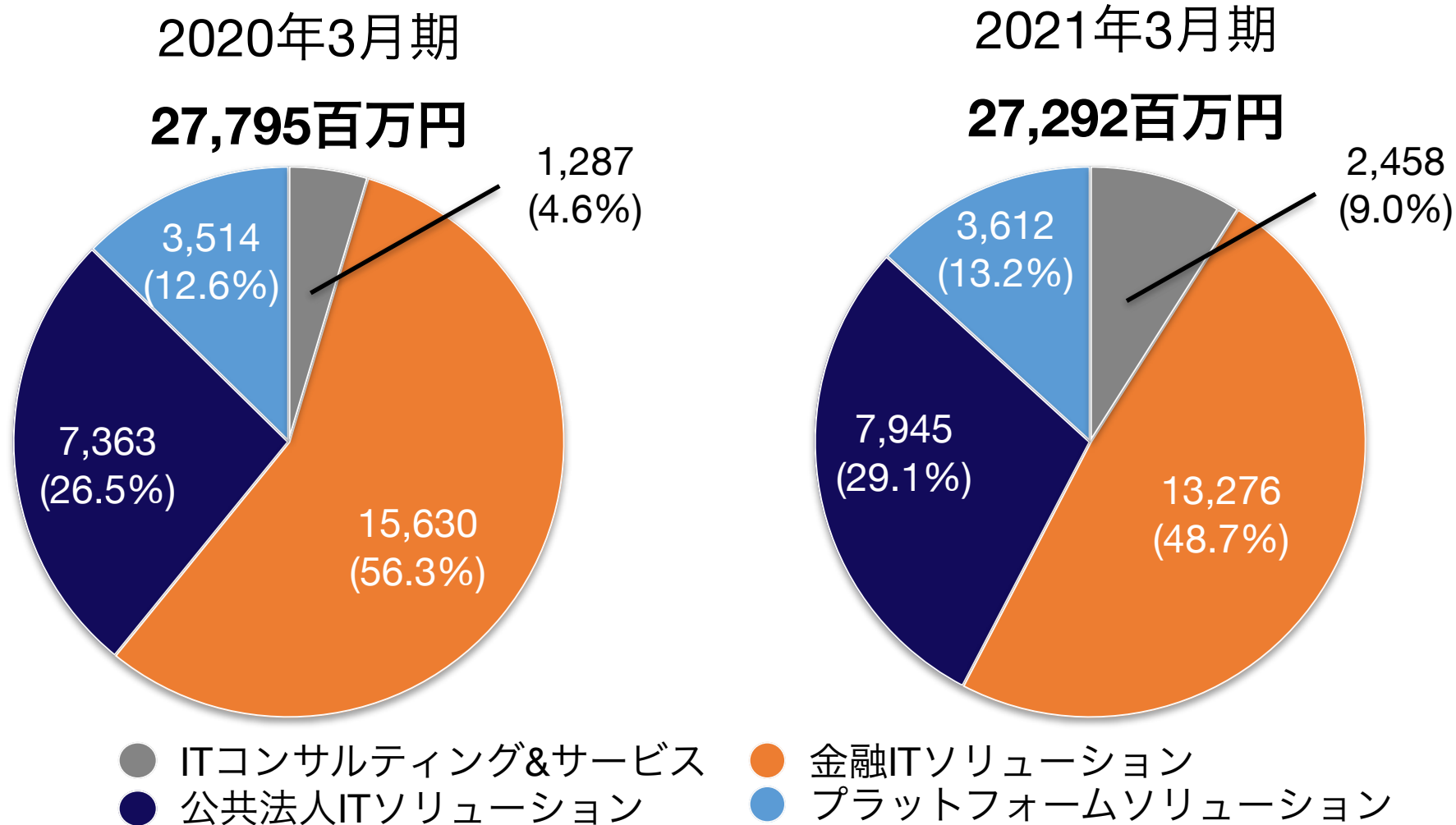
製造・運輸業向けの開発案件等が堅調に推移

プラットフォームソリューション分野



ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインテグレーション等を提供

通信業や官公庁向けのITインフラ構築案件が堅調に推移



※2021年3月期第1四半期より、今後の事業の方向性を踏まえ事業の区分を見直しております。
前年同期の数値は、変更後の区分に組み替えて算出しております。

**2021年3月期
主要施策の状況**

ビジョン

市場の潜在ニーズを捉え、デジタル技術や新たな潮流に対応した次世代型のシステムインテグレーション事業へと進化する

次世代型システムインテグレーターを目指す

高付加価値SIサービスの追求

重点戦略分野の事業の拡大・高収益化を推進

アジャイル
関連事業

セキュリティ
関連事業

SIモデル変革の推進

- M&Aや他社とのアライアンス推進などが評価され「DX認定取得事業者」に認定

2022年3月期に売上高285億円
うち高付加価値SIサービスを20%程度に拡大

中期経営計画

主要戦略

業績目標

次世代型SI事業の全体概況について

次世代型SI事業は順調に拡大

売上高構成比12.3%に拡大（計画比112%）

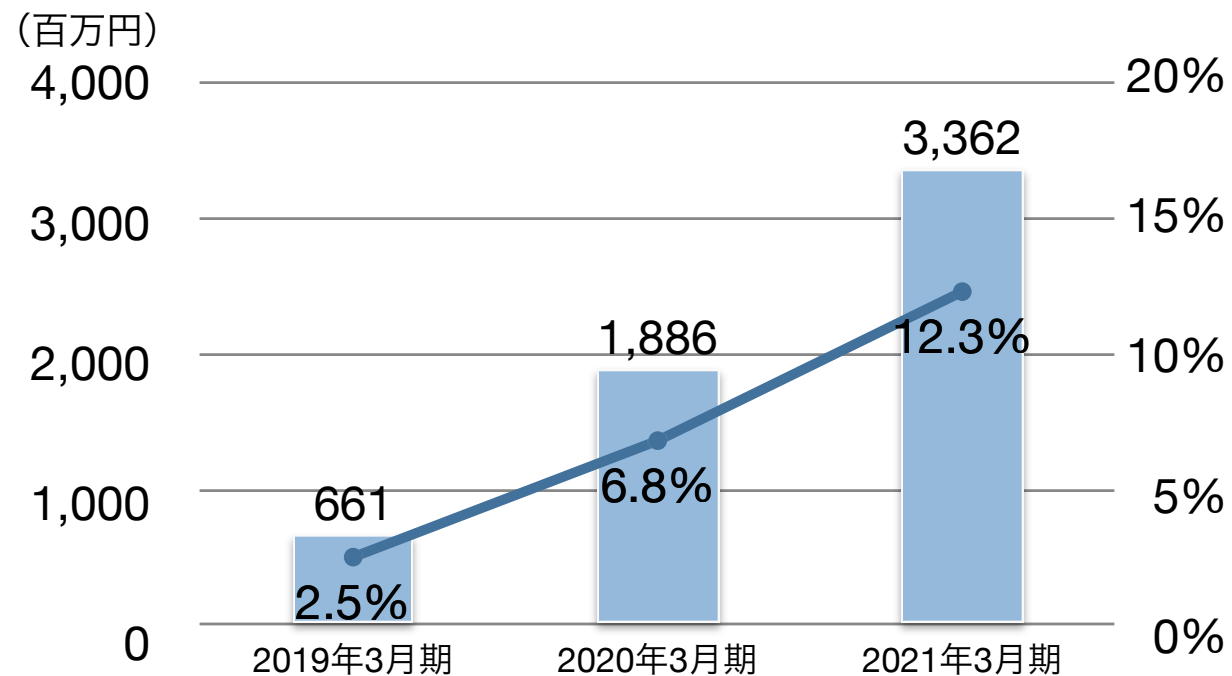
当該事業の拡大やコスト削減の取組みにより連結業績において収益性が向上

売上総利益率 19.8%（前年同期比+0.8%）

営業利益率 8.6%（前年同期比+0.7%）

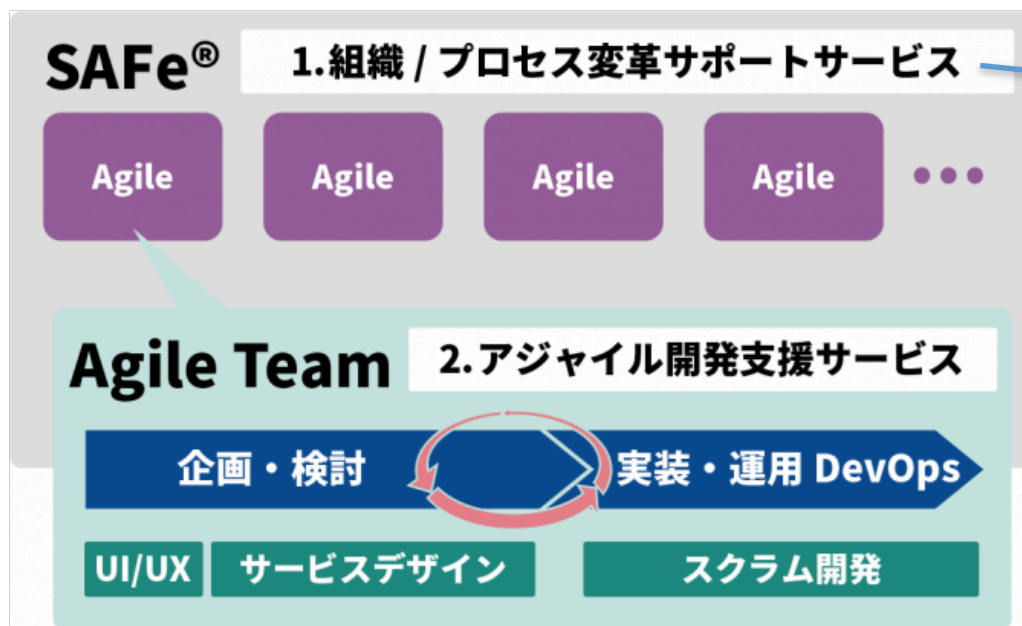
経常利益率 9.4%（前年同期比+1.3%）

次世代型SI事業の売上高比率および売上高推移



TOPICS：重点戦略分野 アジャイル関連事業

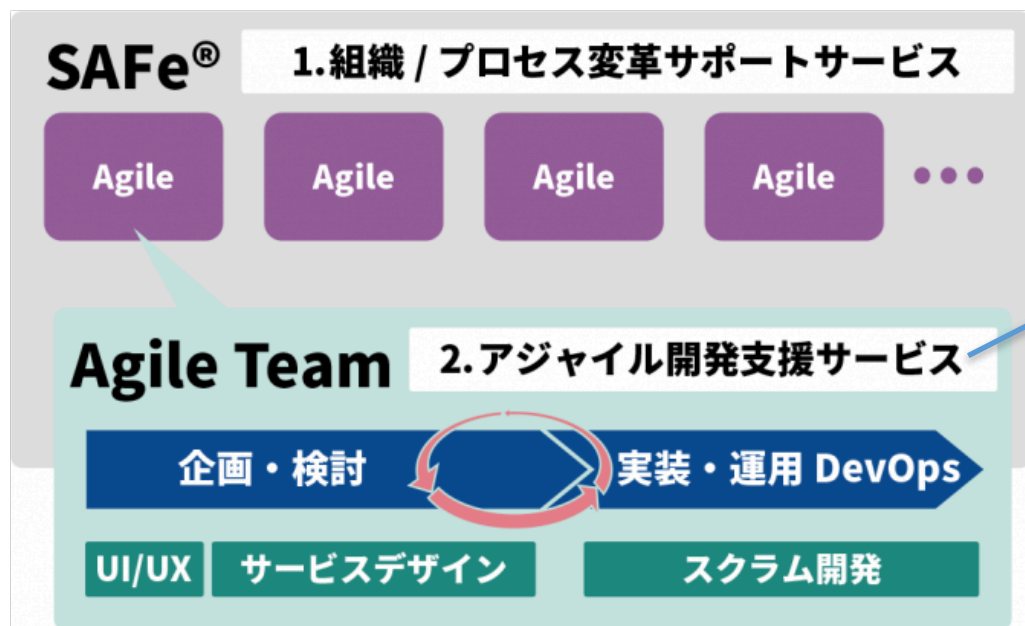
DX実現に必須であるアジャイルについて、過年度より注力しサービスを強化



グローバルシェアNo.1の大規模アジャイルフレームワーク SAFe®を用いた組織/プロセス変革コンサルティングや教育サービスを拡充

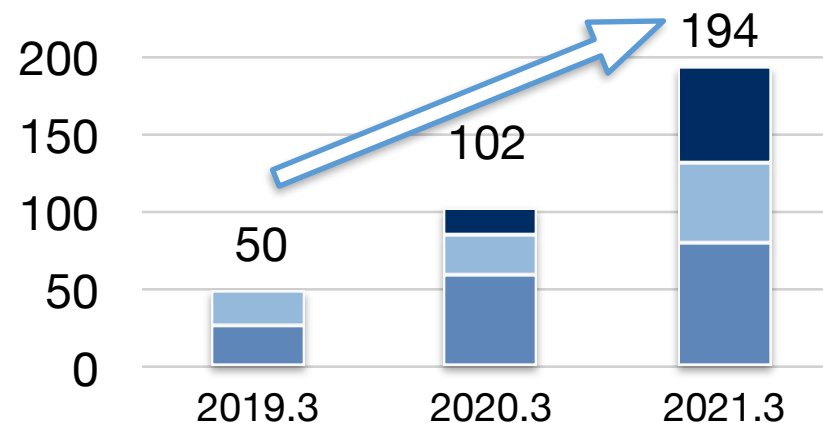
TOPICS：重点戦略分野 アジャイル関連事業

DX実現に必須であるアジャイルについて、過年度より注力しサービスを強化



アジャイル関連技術者数

3カ年で約4倍

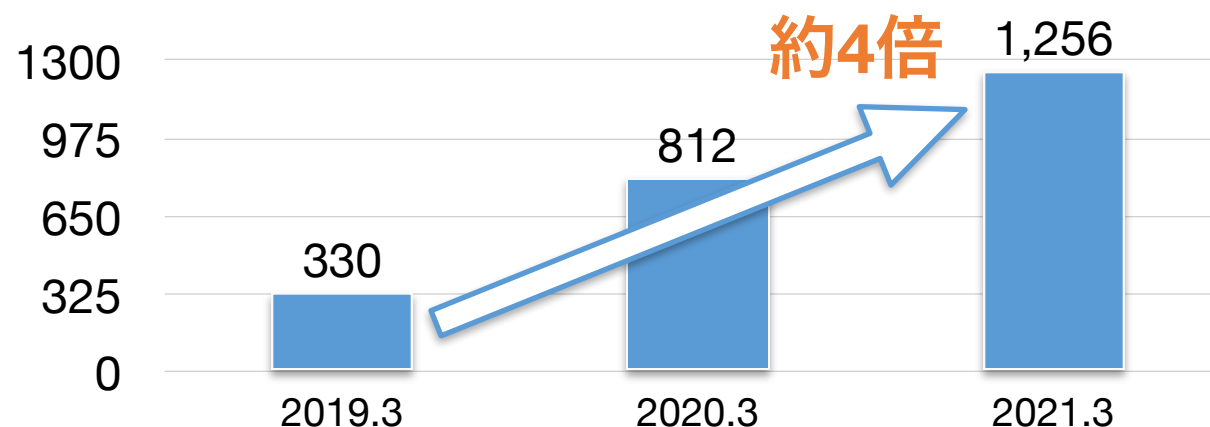


- SAFe認定コンサルタント
- Scrum認定技術者
- アジャイル開発PJ経験者

TOPICS：重点戦略分野 アジャイル関連事業

顧客のDX需要拡大に伴い、アジャイル関連事業の売上高は3カ年で4倍に拡大
通常のSIプロジェクトから約7%高い売上総利益率により高付加価値化を牽引

アジャイル関連事業の売上高



TOPICS：重点戦略分野 セキュリティ関連事業

新サービスの追加等の高付加価値化に向けた取り組みを強化

セキュリティ市場のニーズを狙った新サービスをリリース

- 社会的なりもネットワークソリューションの需要増に対応するため
LTE over IP技術を活用したクラウド型セキュアアクセスサービス「Tegata」の販売を開始。
- 各企業におけるパブリッククラウドの利用増に対し、世界的なベストプラクティス CISベンチマークを活用したクラウドセキュリティ診断サービスの提供を開始。

ローカル5Gを活用したSIサービスの開発を見据えて、PoC案件を実施

資本・業務提携を結んだLTE-X社および運輸会社と連携し、ローカル5Gに繋がる要素技術の獲得を目的としたPoC案件を実施。ローカル5Gの本格普及に先駆けサービス開発を継続して推進する。

TOPICS : SIモデル変革の推進

経済産業省より「DX認定取得事業者」として情報サービス産業界で初認定

2021年2月1日、経済産業省の定める「DX認定制度」において
全国7社目、情報サービス産業界では初となる認定を取得いたしました。



DX認定 当社の評価Point

- 中期経営計画の戦略妥当性、実現に向けた組織体制
- アジャイル関連事業など、DX実現のキーとなる事業の推進
- 他社との事業提携やM&Aなどのオープンイノベーション活動の推進
- 開発プロジェクトにおけるデータを活用した品質担保プロセスの効率化等の研究

2022年3月期 見通しについて

2022年3月期 重点施策

●金融ITソリューション分野における業績の立て直し

- ・ 2021年3月期はコロナ禍による案件の延伸/中断や、SoR(汎用機系)の大型プロジェクトが減少
- ・ **顧客ニーズの高度化に対応するため、金融部門を再編し、SoE、SoI領域への対応を強化**

金融システム事業本部

大規模マネジメント
堅牢なシステム開発

金融ビジネスデザイン事業本部(新設)

最新のオープン系等の**技術力が核**
アジャイル開発等で市場変化に対応

システム要件

System of Record
(情報の蓄積)

System of Engagement
(顧客接点の強化)

System of Insight
(情報の分析・活用)

開発規模

大

中

中/小

付加価値

高

2022年3月期 重点施策

●事業拡大へ向けた投資の強化

DXの潮流が加速する中、重点戦略分野や、今後主流になると見込む要素技術の獲得に向けて
2021年3月期実績から1.6倍以上の投資計画を策定。

新規事業や高付加価値分野のさらなる拡大を狙う

アジャイル
関連事業

セキュリティ
関連事業

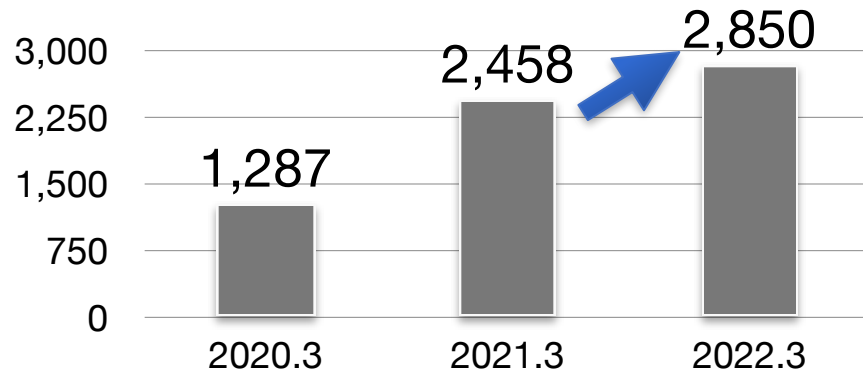
UI/UX

コンテナ

データ
分析基盤

ITコンサルティング&サービス分野

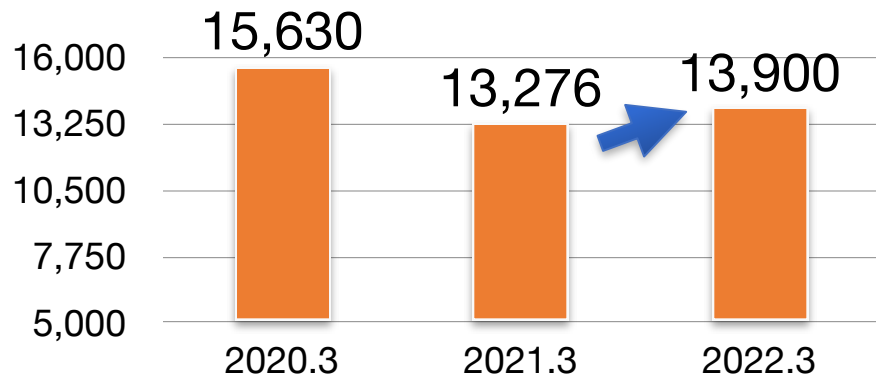
前期比+15.9%



データ分析基盤関連案件の需要が継続し、
拡大基調を維持できる見込み。

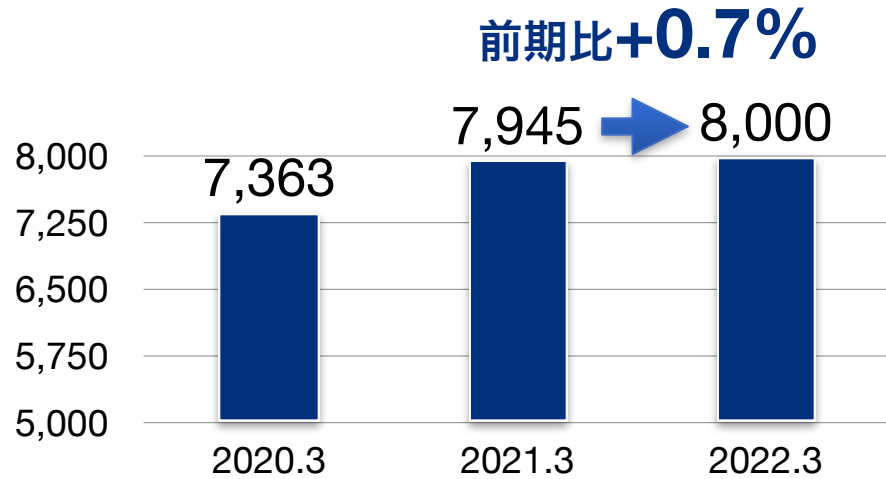
金融ITソリューション分野

前期比+4.7%



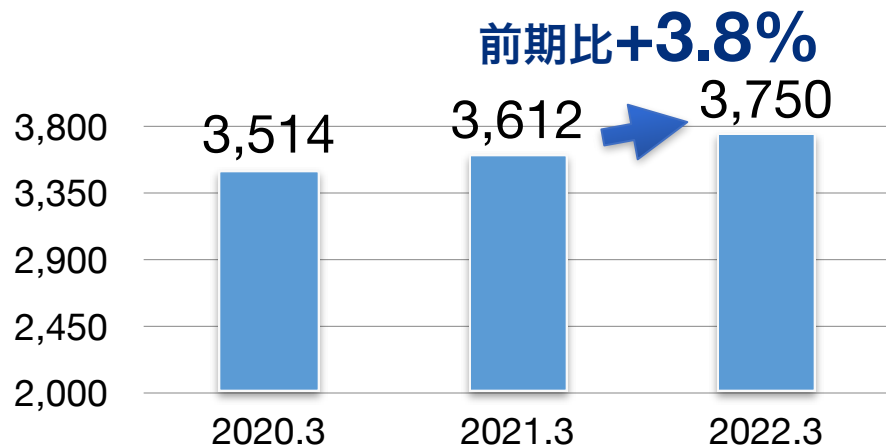
延伸した案件の売上計上や、SoE、SoI領域の
拡大に伴い、増収する見込み。

公共法人ITソリューション分野



製造・運輸業向けの開発案件を継続し、堅調に推移。さらなる成長を目指し、モビリティ分野なども積極的に対応。

プラットフォームソリューション分野



通信業や官公庁向けのITインフラ構築案件は継続。クラウドニーズの高まりによりさらなる拡大を見込む。

業績予想および配当予想

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS (円)	配当予想 (円)
第2四半期 (累計)	13,500 (+2.4%)	1,100 (+2.1%)	1,120 (+1.2%)	750 (+0.6%)	31.12	0.00
通期	28,500 (+4.4%)	2,510 (+6.4%)	2,570 (+0.2%)	1,715 (+0.2%)	71.17	24.00

- コロナ影響による外部環境の変化を考慮し、通期の売上高を300億円から285億円に修正。合わせて営業利益も27億円から25.1億円に修正。

2021年3月期 決算内容

- 財務諸表
- 売上高分析
- 受注高・受注残高
- 営業利益分析

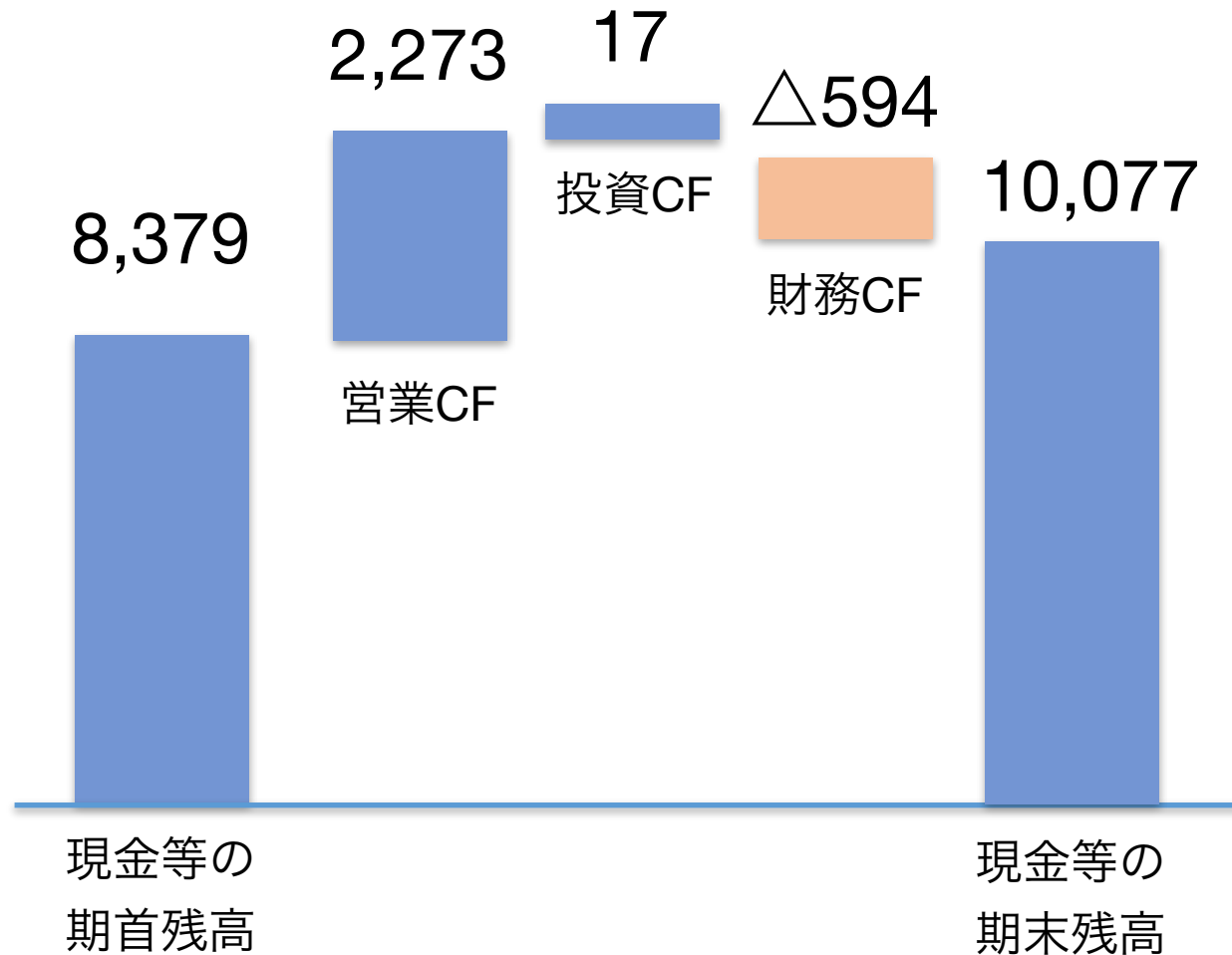
損益計算書

(単位：百万円)	2021年3月期	2020年3月期	増減率
売上高	27,292	27,795	△1.8%
労務費	10,988	10,228	+7.4%
外注費	10,151	11,458	△11.4%
その他経費	782	845	△7.4%
仕掛増減高	△27	△14	△87.0%
売上原価	21,894	22,518	△2.8%
売上総利益	5,398	5,277	+2.3%
販管費及び一般管理費	3,039	3,070	△1.0%
営業利益	2,358	2,206	+6.9%
営業外収支	205	58	+251.2%
経常利益	2,564	2,265	+13.2%
税引前当期利益	2,564	2,265	+13.2%
当期純利益	1,711	1,500	+14.1%
EPS	71.03	62.29	+14.0%

貸借対照表

(単位：百万円)	2021年3月 期末	2020年3月 期末	増減率
資産合計	18,652	16,652	+12.0%
流動資産	15,081	13,463	+12.0%
固定資産	3,570	3,188	+12.0%
負債合計	4,989	4,544	+9.8%
流動負債	4,757	4,347	+9.4%
固定負債	231	197	+17.5%
純資産合計	13,663	12,107	+12.9%
負債純資産合計	18,652	16,652	+12.0%
自己資本比率	73.3%	72.7%	-
1株当たり純資産	566.99	502.43	+12.8%

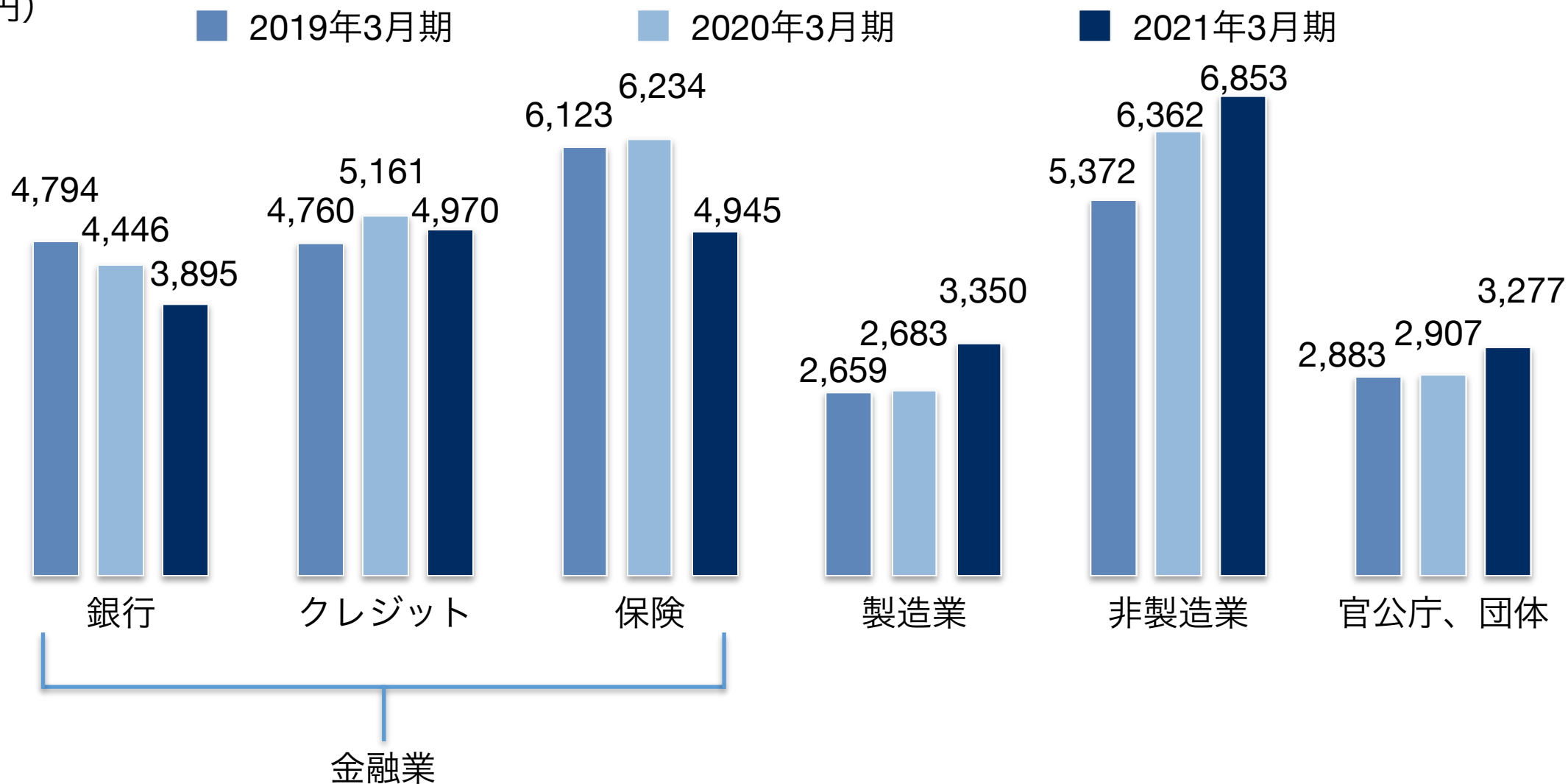
キャッシュフロー計算書



現金等の期首残高	8,379
税引前当期純利益	2,564
減価償却費	86
売上債権	93
仕入債務	△82
棚卸資産	△27
未払金	△66
未払費用	152
その他	142
法人税等	△589
営業CF	2,273
有形固定資産取得	△26
投資有価証券の取得	△106
投資事業組合分配収入	89
利息及び配当金	58
事業譲渡による収入	-
その他	△2
投資CF	17
短期借入金増減	-
配当金支払額	△587
その他	△7
財務CF	△594
現金等の期末残高	10,007

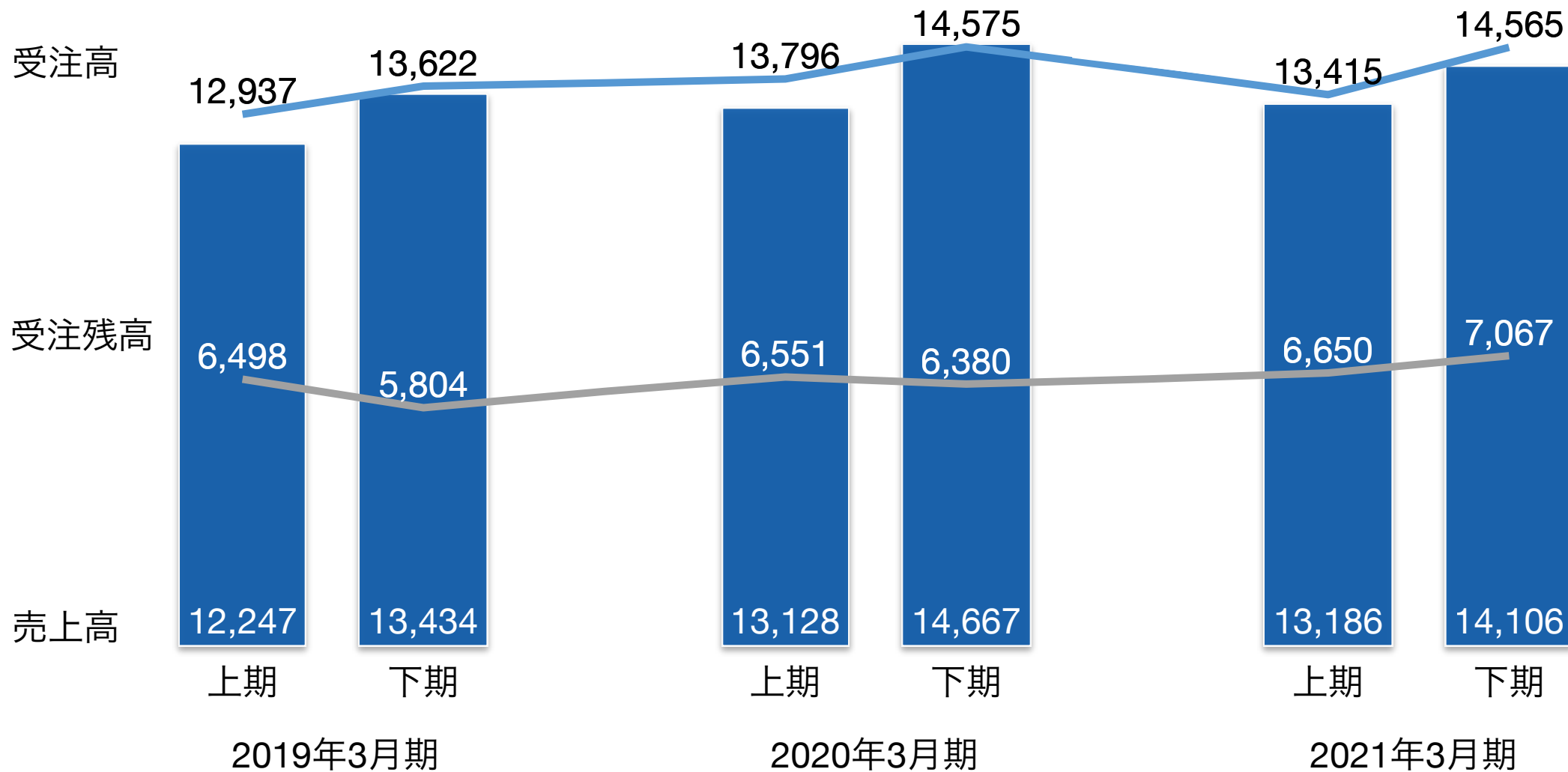
顧客業種別売上高概況

(百万円)

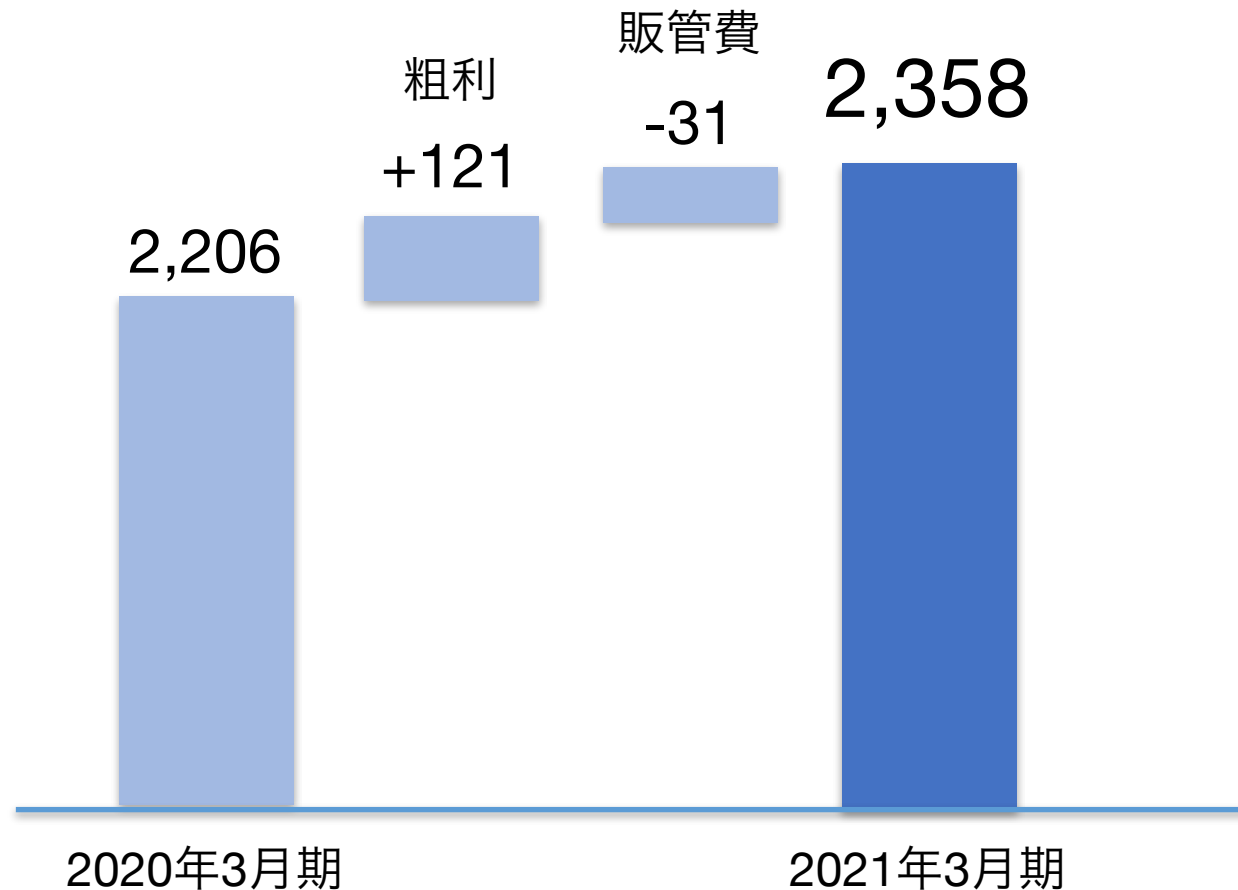


受注高・受注残高状況

(百万円)



(百万円)



< 粗利益 >

売上高の増加及び事業の高付加価値化による収益性の向上により増加

< 販売管理費 >

コロナ禍に伴いコスト減少も、新入社員の採用増や人材育成投資の強化により増加

TDCソフト株式会社

<https://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

TDCソフト株式会社

<https://www.tdc.co.jp/>